月　日　名前　　／50点

【答え】

【中2】国語 文章テスト　説明文 1/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

駅のホームやお店のレジの前で、人は自然に一列に並ぶ。誰かに命令されたわけでもないのに、後から来た人は列の最後につく。考えてみれば、これは不思議なことだ。

列には、目に見える線も囲いもない。あるのは、「先に来た人から順番に」という考えだけである。この考えを、その場にいる全員が知っていて、しかも全員が守るだろうと信じている。だから列は形を保つ。列を支えているのは、人と人との間にある目に見えない約束なのだ。

では、なぜ人はこの約束を守るのか。一つには、それが公平だと感じられるからだ。早く来た人が先に用をすませる。この順番には、誰もが納得できる理由がある。もし力の強い人や声の大きい人が先になるなら、人々は争って前に出ようとし、かえって全員の時間がむだになるだろう。

もう一つの理由は、自分もいつか助けられるということだ。今日、列の後ろで待つ人は、明日は列の前にいるかもしれない。約束を守ることは、自分が待つ番のときに、ほかの人も守ってくれることへの信頼と結びついている。

ところが、この約束はもろい。一人が割りこみ、それを誰もとがめなければ、「守らなくてもいいのだ」という空気が広がり、列はたちまち崩れてしまう。目に見えない約束は、守る人がいるあいだだけ存在するのである。

当たり前のように並ぶ一本の列は、多くの人が少しずつ自分を抑え、ほかの人を信じることで保たれている。その小さな信頼の積み重ねが、社会を動かしているのだと言えるだろう。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　筆者は、列を支えているものは何だと述べていますか。本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

人	と	人	と	の	間	に	あ	る	目	に	見	え	な	い	約	束				

問二（十点）　「かえって全員の時間がむだになるだろう」とありますが、そう言えるのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　力の強い人は、用をすませるのが遅いから。
イ　人々が争って前に出ようとし、順番が決まらなくなるから。
ウ　声の大きい人ほど、長く話をするから。
エ　列の最後の人が、いつまでも帰れなくなるから。

イ

問三（十点）　人が約束を守る「もう一つの理由」について、筆者は、約束を守ることはどんなことへの信頼と結びついていると述べていますか。「～への信頼」につながるように、本文中から三十字以内で抜き出しなさい。

自	分	が	待	つ	番	の	と	き	に	、	ほ	か	の	人	も	守	っ	て	く
れ	る	こ	と																

問四（十点）　「目に見えない約束は、守る人がいるあいだだけ存在する」とありますが、どういうことですか。本文の例をふまえて、四十五字以内で説明しなさい。

割	り	こ	み	を	誰	も	と	が	め	な	い	と	守	ら	な	い	空	気	が
広	が	り	、	約	束	は	す	ぐ	に	消	え	る	と	い	う	こ	と	。	

問五（十点）　筆者の考えとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　列を守らせるためには、係の人が見張る必要がある。
イ　列は、多くの人が少しずつ自分を抑え、ほかの人を信じることで保たれている。
ウ　列に並ぶのは時間のむだなので、別の方法を考えるべきだ。
エ　力の強い人が先に進むほうが、社会はうまく動く。

イ

月　日　名前

／50点

合計　／100点【答え】

【中2】国語 文章テスト　物語文 2/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

合唱コンクールまで、あと二週間だった。放課後の音楽室で、ぼくは指揮台の上に立っていた。指揮者に選ばれたのは、じゃんけんで負けたからだ。

「もう一回、最初から。」

ぼくが腕を上げても、半分くらいの人しかこちらを見ていない。男子の列の後ろでは、何人かが笑いながら話している。歌が始まっても、声はばらばらで、ピアノの音ばかりが大きく聞こえた。

「ちゃんとやってよ。」

ソプラノの前列から、学級委員の三浦さんが振り返って言った。男子の一人が「指揮がわかりにくいんだよ」と言い返し、音楽室の空気がとがった。ぼくは何も言えずに、腕を下ろした。

その夜、ぼくは自分の部屋で、動画に映る指揮者を何度も見た。腕の動きをまねしてみたが、どうしても同じようにはならない。途中で、ふと気づいた。上手な指揮者は、腕よりも先に、顔で歌っていた。歌の出だしの前に息を吸い、歌う人たちと同じ口の形をしている。

次の日の練習で、ぼくは腕の動きを気にするのをやめた。そのかわりに、歌い出しの前に、自分も大きく息を吸った。みんなの顔を一人ずつ見て、声が小さくなるところでは、口を大きく開けた。

最初は、誰も気づかなかった。けれども二回目のとき、後ろで話していた男子の一人が、ぼくと目が合って、少し照れたように口を開けた。三回目には、声がひとつの方向に集まっていくのが、指揮台の上から分かった。

歌い終わったあと、三浦さんが「今の、よかったね」と言った。男子の列からも、「まあまあだな」という声がした。ぼくは指揮台を下りながら、じゃんけんで負けたことを、はじめて少しだけよかったと思った。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　ぼくが指揮者に選ばれたのはなぜですか。本文中から十五字以内で抜き出しなさい。

じゃんけんで負けたから

問二（十点）　「音楽室の空気がとがった」とありますが、このときの様子として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　三浦さんと男子が言い合いになり、みんなが気まずく張りつめた感じになった。
イ　歌がそろってきて、音楽室が明るい雰囲気になった。
ウ　窓が開いていて、冷たい風が入ってきた。
エ　先生が来て、みんなが急に静かになった。

ア

問三（十点）　ぼくが動画を見て気づいた、上手な指揮者の特徴を、本文中から十五字以内で抜き出しなさい。

腕よりも先に、顔で歌っていた

問四（十点）　「少し照れたように口を開けた」とありますが、男子がこうしたのはなぜだと考えられますか。ぼくの指揮の変化にふれて、四十五字以内で説明しなさい。

ぼくが一人ずつ目を合わせ、口を大きく開けて歌う指揮をしたので、それに応えようとしたから。

問五（十点）　最後の一文から読み取れる、ぼくの気持ちとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　指揮者をやめられるので、ほっとしている。
イ　いやいや引き受けた指揮者だったが、クラスがまとまる手ごたえを感じ、やってよかったと思い始めている。
ウ　三浦さんにほめられたことだけがうれしく、ほかのことはどうでもよいと思っている。
エ　じゃんけんで負けたことを、まだくやしく思っている。

イ

【中2】国語 文章テスト（100点）　説明文 1/2　答えと解説（1問の配点は問題の半分）

問一（十点）　答え：人と人との間にある目に見えない約束

解説：第二段落の最後「列を支えているのは、人と人との間にある目に見えない約束なのだ」が根拠。線も囲いもないのに列が保たれる理由を、筆者はここでまとめている。

問二（十点）　答え：イ

解説：直前の「人々は争って前に出ようとし」が根拠。順番の約束がなくなると、争うことに時間が使われる。ア・ウ・エは本文にない。

問三（十点）　答え：自分が待つ番のときに、ほかの人も守ってくれること

解説：第四段落の最後の一文が根拠。今日は待つ側でも、明日は前にいるかもしれない。自分も守られるという信頼が、約束を支えている。

問四（十点）　答えの例：割りこみを誰もとがめないと守らない空気が広がり、約束はすぐに消えるということ。

解説：第五段落の「一人が割りこみ、それを誰もとがめなければ～列はたちまち崩れてしまう」を、自分の言葉でまとめる。約束は形として残るものではなく、守る人がいなくなれば消える、という点が中心。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①割りこみをとがめないと、守らなくてよいという空気が広がる

②約束（列）はすぐに崩れてしまう

問五（十点）　答え：イ

解説：最後の段落が筆者のまとめ。アは本文にない。ウ・エは本文と逆（第三段落で、力の強い人が先になると全員の時間がむだになると述べている）。

【中2】国語 文章テスト（100点）　物語文 2/2　答えと解説（1問の配点は問題の半分）

問一（十点）　答え：じゃんけんで負けたから

解説：第一段落の最後の一文が根拠。自分から引き受けたのではない、という出発点が、最後の一文の気持ちの変化につながる。

問二（十点）　答え：ア

解説：直前で三浦さんが注意し、男子が「指揮がわかりにくいんだよ」と言い返している。「とがった」は、とげとげしく張りつめた雰囲気を表す。

問三（十点）　答え：腕よりも先に、顔で歌っていた

解説：第六段落の「上手な指揮者は、腕よりも先に、顔で歌っていた」が根拠。次の日のぼくの指揮は、この気づきをもとに変わる。

問四（十点）　答えの例：ぼくが一人ずつ目を合わせ、口を大きく開けて歌う指揮をしたので、それに応えようとしたから。

解説：第七段落で、ぼくは腕の動きではなく、息を吸い、一人ずつ顔を見て、口を大きく開ける指揮に変えた。前の日に話していた男子が、目が合ったことで応えた場面。「照れたように」は、急にまじめに歌うことへの照れを表す。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①ぼくが顔（目を合わせる・口の形）で歌う指揮に変えた

②その指揮に応えようとした

問五（十点）　答え：イ

解説：「じゃんけんで負けたことを、はじめて少しだけよかったと思った」が根拠。第一段落の「じゃんけんで負けたから」と対になっている。